

## 第 10 回韓日金型フォーラムのご挨拶

社団法人日本金型工業会  
会長 牧野俊清

今年で記念すべき第 10 回目の「韓日金型フォーラム」を迎えることができました。これもひとえに韓国金型工業協同組合の金理事長様を始めとする御組合のスタッフの皆様、日本金型工業会の上田前会長、傘下会員企業、関連業界の皆様方のご支援、ご協力の賜物であると思っております。

さて、日本では、急激な円高の加速等により、ユーザーの海外工場の移転・拡大による受注減、ユーザーからのコストダウンの強制による採算性の悪化が生じ、さらに、東日本大震災、タイ国の水害等が生じ、ものづくり産業は大きな被害を被っております。金型業界はさらに深刻な事態で、2011 年の金型生産額は 2008 年金型の 68%となっております。

しかしながら、業界に影響する内容は日本と異なっても韓国も同様に金型業界は厳しい状況であるとうかがっております。金型ユーザーが世界に分散し、金型需要が減少するというこの大きな世界の潮流にいかに対応していくかが我々金型業界の最大のテーマであり、韓国は日本の模範であると考えております。

今年、4月にアジア金型工業会協議会 FADMA (The Federation of Asian Die & Mould Associations) の総会が大阪で行われ、韓国・中国・インド・タイ・フィリピン・台湾・マレーシア・シンガポール・インドネシア・日本の 10 カ国が参加されました。

幸いにして、御国とはお隣同士、また FADMA 会員の仲間同士ということもあり、お互いに協力体制を整えて参り、「韓日金型フォーラム」という情報の共有を得られる大変すばらしい場が得られております。

これからは、お互いに国を越えて韓国金型工業協同組合と社団法人日本金型工業会が一丸となって協力しあいながら頑張らなくては金型業界の明日は見出せませんので、お互いの傘下会員企業並びに関連業界の皆様の更なるご支援、ご協力を切にお願い申し上げご挨拶に代えさせていただきます。

平成 24 年 11 月 18 日